



いなべ市 2022年

国際交流協会だより

Inabecity International Exchange Association



目次

- P2 ごあいさつ・交流のかけはし
- P3 タスマニアホームステイ交流派遣アンケート
- P4~6 ... タスマニア中学生交流使節団派遣体験者の思い出
- P7 いなべ・にほんご広場 開講中の語学講座
- P8 主な行事 国際交流協会入会案内

ごあいさつ

皆さま、こんにちは！市民の皆さまには、いなべ市国際交流協会に格別のご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当協会は、市の未来を担う子供たちをはじめ広く市民の皆さまに、対外友好交流活動を通じて、世界観・国際感覚養成の一助となるよう設立されたボランティア団体であります。

活動内容は、①異文化体験の場としてタスマニアとの中学生相互交流派遣事業、②ネイティブ講師による外国語講座運営、③多文化共生社会で外国籍市民対象の日本語教室（にほんご広場）の開催、④講演・公演・外国料理などを介しての海外友好交流会の開催などです。

さて、今回刊行の「国際交流だより」の特集として、タスマニア派遣に「応募されてホームステイを体験された方へ、アンケートの実施並びに現視点での感想文のお願いを申し上げました処、沢山の方々からご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

感想文に就きましてもその全てを拝読させて頂きました。10年・20年前の短期間の体験を昨日の出来事の如く述べられている方が多く、大きな感動を受けました。更に多くの方がその後のご自身の人生の中に、中学生時代のこの派遣体験を『明確に位置付け』されてみえ、主催者側として感銘を受け嬉しさも感じ、同時に感受性の高い中学生時代に体験されることの有意性を改めて知らされた次第です。

最後になりましたが、コロナ感染禍の収束が明確に見通せない昨今、対面活動はどうしても限定的にならざるを得ません。然しながら、自由に交流活動を展開できる日の到来は遠からじと願い、2022年も皆さまのご支援を頂き、皆さまと共に交流の輪を広げたいと思います。何卒宜しくお願い申し上げます。

いなべ市国際交流協会 会長 多湖 信隆



特別寄稿 交流のかけはし

渡航制限で友好交流も不自由な中、タスマニアの交流責任者のクラーク・ドナさんより訪問交流再開への願いを込めて、特別寄稿を頂きました。訳文を掲載いたします。

タスマニアからこんにちは！私たちは友人であるいなべの皆さんの健康と安全を願いながら、時折皆さんの事を思っています。今年のいなべの冬は特に寒かったと聞きました。山に積もった雪はきれいですが、私たちが前回訪問した時に大変親切にして貰ったセメント工場の皆さんの日常業務が、雪で混乱していなければ良いかと願っていました。

タスマニア州は、昨年12月中旬までは大規模な新型コロナ感染防止策がとられましたが、その後は他州への移動が可能となり州間移動者の検疫措置も削減されました。オミクロン株は急速に拡大しましたが、ワクチン対象人口の99.8%が接種していて殆どが軽症でした。私たちが居住するグレノーラ地域での感染者は非常に少なく、現時点で学校にも影響はありません。生徒と先生は地域を感染から守るため、室内ではマスク着用で夏休みを終え学校に戻りました。

処でグレノーラ地域学校では、今年カレッジ施設（大学進学希望者に義務教育後の後期教育を行う施設）を開設しました。カレッジに入って学ぶには、従来は家を離れて遠くのホバート市へ移り受験生は苦勞していましたが、これにより自分の地域内で勉強ができます。地域内の入学者は多くはないですが、これから増えると期待しています。私Donna Clarkは、従来の高校での仕事に加えて、この新施設の拡充と管理運営を行っています。

当地の今年の果物は豊作で、沢山のさくらんぼやラズベリーが摘み取られて国内外に販売されました。現在はダーウェント溪谷のホップ生産の時期となり多くの農家は収穫を始めました。彼らは期間中に600トンのホップを収穫します。このホップに興味があるなら <https://www.hops.com.au/about/> にリンクして、仮想収穫ツアー体験や諸情報を得てください。

ホップの収穫が終わると冬の剪定の前に、農家はリンゴの摘み取りを行います。木々の葉は黄金色に変わり始めましたが、この時期今年はまだかなり暖かいです。最近本土の州が苦勞している洪水や降雨は、ここでは発生していません。又、日差しが十分あって雑草が元気なので庭の管理に忙しい昨今です。

私たちは、いなべの皆さんの2022年の健康と繁栄、そして幸せを願いつつ、また会える日を心待ちしております。

2022年3月5日 Donna Clark



特集-1 タスマニアホームステイ交流派遣アンケート

市内中学生のタスマニアへの派遣交流は、現在までに13回実施し延べ193名の中学生が派遣されホームステイ交流を体験されています（前組織の大安町国流時代を含みます）。

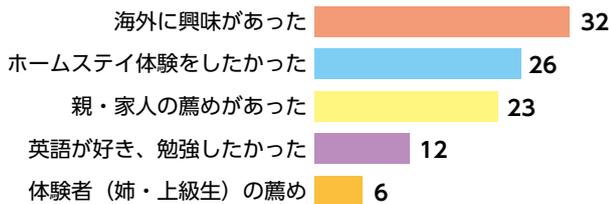
この度、派遣交流体験者の方々にアンケートをお願いしましたところ、58名の方々からご協力を頂き大変嬉しく思っております。誠にありがとうございました。アンケート結果の報告をさせていただきます。

体験者の内訳

藤原中	北勢中	大安中	員弁中	合計
10	36	116	31	193

アンケート結果 (58名回答)

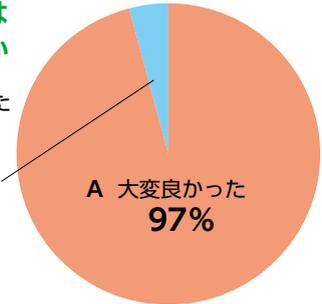
Q1 派遣交流の参加動機は（複数回答可）



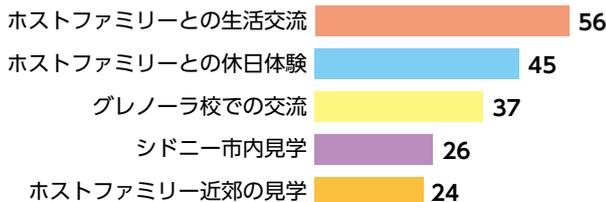
Q2 ホームステイは良かったですか

そうでもなかった
0%

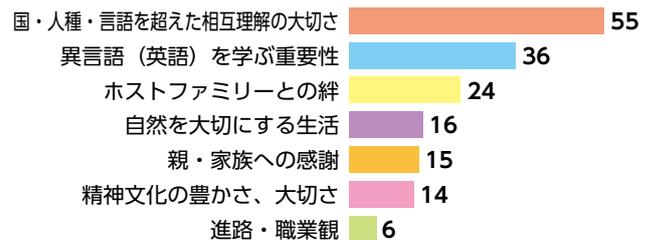
B まあまあ良かった
3%



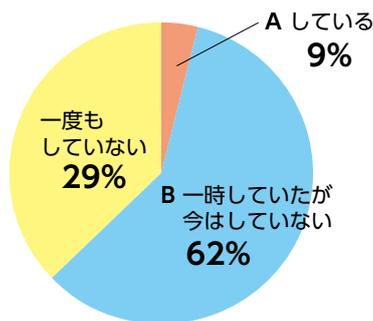
Q3 前項2でAとBを回答された方にお聞きします。何が良かったですか（複数回答可）



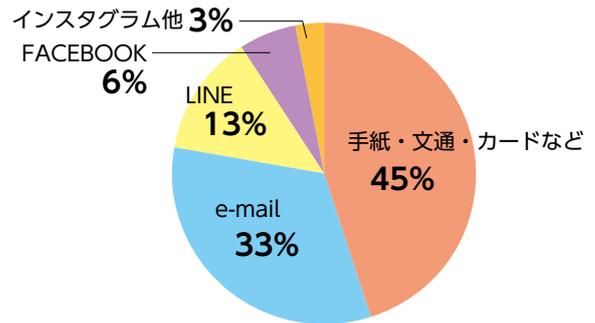
Q4 派遣交流を体験して学んだこと、知り得たことは何ですか（複数回答可）



Q5 交流派遣後もホストファミリーと交流を続けていますか。



Q6 前項5でAとBを回答された方にお聞きします。交流ツールは何ですか



ご意見・ご要望のまとめ アンケートに併せて次の貴重なご意見を頂戴しました。

ホームステイ期間が短か過ぎ。
期間延長を。

ゆっくり交流できるように
ホストファミリーは、全日程の受け入れを。

タスマニアへは
シドニー直行便の使用を。

中学校で外国語教育の
有料プログラムの実施を。

タスマニア体験者で海外と関わる方と
中学生の交流を（セミナーなど）。

中学校の部活で英語クラブの設立を。

帰国後のホストファミリーとの交流に
中学校や協会のサポートがあると良い。

豪州に拘らず、
米国・英国も視野に。

特集-2 タスマニア中学生交流使節団派遣体験者の思い出

タスマニア交流派遣を体験された多くの方より感想文を頂戴しました。全てを掲載致すのが本来の姿ですが、紙面数の限度もあり約半数の方々の掲載となり申し訳ございません。又、掲載に当たって、短文化を目的に文章の一部を簡略化、又は省略させて頂きましたが併せてご了解の程申し上げます。

この特集企画に賛同し感想文を送って頂いた方々に心よりお礼申し上げます。

尚、頂戴しました感想文は、協会事務所で閲覧して頂けます。

(敬称略)

大塚 由里

1997(H9)年派遣

この度は、当時を振り返る機会をいただきました。ありがとうございます。又、平素よりいなべ市国際交流事業の運営、及び未来を担う子どもたちに貴重な機会を提供いただいていることに感謝申し上げます。

当時、中1であった私には願ってもない募集でした。確か大安町(当時)がタスマニア出身のマーガレット先生のご縁で交流派遣をする初めての年だったと記憶しています。母親の賛成と英語科目が好きだったこともあり何の迷いもなく応募、思いの文を作文に書いたような気がします。今思えば、初めての海外は良い意味で衝撃的でした。中学生なりの自分の価値観や世界観を壊してくれるキッカケになりました。もちろん英語でのコミュニケーションは取れずホストファミリー宅ではもどかしい思いもしました。それでもホストファミリーのこちらを理解しようとする姿勢や温かい気持ちと自分の中の好奇心の方が圧倒的に上回っていたと思います。

その後社会人になり、仕事で海外主要都市やメジャーな町は行く機会がありました。然し、私の海外接点の原点は今でも「中学生の時に訪れたタスマニア」にあると思っています。

親になり思いますが、子連れで海外は費用面でも体力面でも安全面でもハードルは決して低いものではありません。でも、日本以外に出ないと日本を客観的に見られないし親としては子どもに広い世界を知ってほしい。子どもの探求心や好奇心は何がキッカケで広がるかわかりません。家庭では中々難しいこのような機会を市でバックアップ頂けるとはとても素晴らしいことですし、体験者として今でも感謝しております。(後略)。

日沖 祐人

2001(H13)年派遣

ルーベンとオリバーという兄弟がいた家庭に住まわせていただきました。牧場をお母様が切り盛りしており、お父様は会社勤めでした。ご家庭はベジタリアンで、玄関を開けた右側には沢山のレコードがありました。確かお父さんがDIYで建てた家だったと思います。暖炉の広い部屋にドラムが置いてある平屋の広いおうちでした。食事は牧場のヤギの乳、豆料理がたくさんありました。(中略) 高温のお湯で食器を洗ったのは、今でも熱かったなと思い出します。伊藤厚孝太君とペアになってのホームステイでした。彼も元気にしているでしょうか。四駆の車で牧場を夜走って野生のウォンバットを見せてもらいました。学校では川下りをしました。

20年以上前の思い出ではありますが、タスマニアでの交流は、僕の中で色濃く残っているものばかりです。

出国の朝、ルーベンが寂しくて泣き出してしまったのは忘れられません。ご無理を言いますが、もし可能であればホームステイ先の住所、ご家族の名前、連絡先等教えて頂ければ有難いです。自分も家族を持ったことを報告したいと思っています。家の隣は谷のような川が流れていて、とてもきれいなロケーションでした。

坪井 勇樹

2004(H16)年派遣

数十年前に当時中学2年生で参加させていただきました。当時の海外の日常生活に興味があり、親に頼んだことを思い出します。苦しいながらも家計をやりくりして送り出してくれた親には感謝しかありません。

学生や若いときに貴重な体験が出来た事は私の宝物です。今はその経験を活かした職業に就いておりませんが、「何事にもまずは挑戦する、やってみる」という前向きに考える精神が身についたかと思っております。海外に行くのは怖いかもしれませんが。つたない英語しかしゃべれず不安かもわかりません。私もそう感じておりました。でも、ボディランゲージと伝えたいという思いで必死に語れば伝わるのだと思えました。(中略)「with コロナ」後の世界ができた時には、ぜひ貴重な体験をしに行きたくて欲しいと思っております。

匿名希望

2004(H16)年派遣

中学生という多感な時期に広い世界を見せて頂ける機会があったことは本当に有難いことだったと思っています。自分の目で見て考え、感じたり言葉にするというのは、その後の人生においてしっかり活かされてきたと思います。言葉や文化の壁を若いうちに経験することで、コミュニケーションの難しさや大切さ、多様性を受け入れる考え方などが自然と身についたように感じます。子ども時代においては、その日その時に起こることが全てで、自分のすぐ近くしか見えていなかったり、殻を破れなかったりしがちですが、親から離れ、新しいものを見て、触れて、刺激を受け、自分でも知らなかった自分に会える体験が必要で、それができたのがこのホームステイ交流でした。コロナが終息し、以前のように交流が再開された折には、一人でも多くのいなべ市の中学生の皆さんが、それぞれの豊かな人生の為に知見を広げられるよう祈っています。

大橋 藍

2004(H16)年派遣

いなべ市国際交流協会でのホームステイの体験が自分にとって初めての海外渡航であり、当時の同級生らと、あれこれ相談しながら準備をしたことがとても懐かしいです。

タスマニアは、自然が豊かでホストファミリーの家のまわりにも、広々とした丘が四方にあり、土地の広大さを実感しました。

「本当に異国に来たんだな」と感慨深かったのを思い出します。

自然や食事、学校の様子など、日本とは違う環境はとても興味深かったですが、一番思い出に残っているのは、ホストファミリーの方々と交わしたハグです。日本では気持ちを伝えあうときに抱きしめあう文化はあまりないですが、ホストファミリーとハグをしあった時に、とても温かな気持ちになったことに驚きと嬉しさを感じました。

ホストファミリーの家には数日間の滞在だったのですが、お別れのハグをしたときには、とても別れがづらい気持ちになり、涙が出てきてしまいました。心を動かすのは言葉だけではない、ということが実体験としてわかった一つの習慣だと思います。

国際交流協会のスタッフの皆さんは英語だけではなく社会経験も未熟な私たちにとって多くを助けていただいた存在でした。準備、ホームステイ、帰国の全てにおいて全力で取り組めたのもスタッフの方々を支えてくださったからだと思います。中学生という年齢で、海外の文化に触れることは、大きな財産となる経験だと思います。旅行ではなくホームステイだからこそ学べるものが沢山あると思うので、これからもいなべ市の中学生の方々が機会に恵まれ、素敵な経験へつなげていってくれるといいなと思っています。

上杉 典子

2004(H16)年派遣

タスマニアホームステイ交流を経験させていただいたことで、異言語や異文化に関心を持つことができ、高校、大学の進路を決める際に自分の明確な希望が持てました。途中で断念してしまいましたが、将来就きたい職業として、グランドスタッフを目指したのも、このホームステイ交流がきっかけです。

また、中学生という早い時期に海外に行けたことで、海外が以前よりも身近なものに感じ「海外へ行く」ということのハードルが下がったようにも思います。そのおかげで大学在学中に留学や旅行も経験することができ、沢山のことを学ぶことができました。

今の時代、様々な方法で海外のことを知ることができますし、SNSで交流もできるとは思いますが、実際に自分の目で見て、直接話して感じることに、とても意味があると思います。自分自身に子どもがいるので、もう少し大きくなって同じような機会があって本人に少しでも興味があれば、ぜひとも参加してほしい…！と強く思います。

この素晴らしい交流事業が末永く続き、一人でも多くの方に交流に参加してもらえると嬉しいです。とても有意義な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

小川 明日香

2006(H18)年派遣

「海外の広い世界を見たい」「いつか海外で働いてみたい」そんな漠然とした思いが小学生の時からあった中で、初めての海外渡航チャンスであるタスマニアでのホームステイには迷いもなく参加しました。思えば、その頃からやってみようという事には惜しまずお金を出し、送り出してくれた両親にただただ感謝です。事前の英語練習や先方の方々に披露するソーラン節の練習、お土産には何にしようかなと渡航準備段階から楽しみにしていました。

一方で、実際には飛行機では酔うし耳は痛いし、島国にも拘わらず節水を徹底するように言われるし、ホストファミリーや現地の中学生との英語でのコミュニケーションは想像より難しいし…海外に行くのは何とも刺激的で且つ苦勞の多いことだと感じたのを今でもはっきりと覚えています。

それでも、本研修での経験を通じて、海外への関心は一層増し、大学では中国とイギリスに長期留学、大学卒業後は商社に入社し、ドイツで3年半駐在を経験、これまで30か国以上を訪れ世界の様々な人々、価値観、文化を体感して来ました。昨年より、偶然にも仕事でタスマニアのメーカーと関わるようになりました。

私の初めての海外経験はタスマニアなのだと言ったら、彼らに話すと、“You know the best place in the world !But you still have many things to see in Tasmania”と季節の変わり目にタスマニアの写真を送ってくれるのです。

15年前タスマニア研修に参加した頃の自分にはまるで想像もしていなかった自分が今ここにいます。そんな風に振り返ると、仕事が大変な毎日をもっと楽しみたい…と思うこの頃です。このような人生を変える経験をさせて頂きありがとうございました。

木寺 由梨香

2010(H22)年派遣

私は初めて海外に行ったのがタスマニアでした。ネイティブの方と英語で話すことは、もちろん初めてで、ホストファミリーに会うまでは不安と緊張でいっぱいでした。いざホストファミリーと会い、話そうとしても、その時の私の英語力では、なかなか自分の意思を上手に伝えられず、もどかしい気持ちになりました。しかしホストファミリーが耳を傾けてくれたおかげで、英語が話せなくても意思の疎通ができたという喜びは今でも忘れられません。帰国してから毎月手紙を送りあったり、タスマニアへ行ってから11年経った今でも誕生日にはお祝いのメッセージを送ってくれる温かいホストファミリーに出会えたことに感謝しています。

また、タスマニアで日本と異なる文化や常識に触れることで、中学生ながらに自分の視野が広がったと感じました。たった一週間という短い期間でのホームステイ経験でしたが、私の人生において大きな財産になったと思います。この経験をきっかけに、異文化について更に学びたいと思い大学時代にはカナダへ語学留学にも行きました。

このような素晴らしい機会を与えてくださった、いなべ市国際交流協会の皆さん、先生方に本当に感謝しています。ありがとうございました。

水谷 彩子

2012(H24)年派遣

タスマニア交流派遣は忘れられない体験であり、自分にとって大きな財産となりました。特に印象に残っていることは、ホストファミリーやグレノーラ校の皆さんとの会話です。最初はとても緊張しましたが、わかりやすい単語を用いてゆっくり話して下さる言葉が日を追うごとにわかるようになっていきました。また、身振り手振りや電子辞書を使ってではありますが、伝えたいことが正確に伝わったことがとても嬉しかったです。劇的に英語の能力が進歩したわけではないですが、伝わらない・受け取れないかもしれないこと

に物怖せず積極的に自分から行動すること、伝えるべきことを全力で伝えること、目を見て話をしっかり聞くことなどコミュニケーションをとる時に大切なことを改めて学びました。

他にも、グレノーラ校の皆さんの前で緊張しながら披露した「ふるさと」、自然豊かなタスマニアのきれいな星空、ホストファミリーと一緒に折り紙を折って遊んだことなど、訪問から約10年たった今でもタスマニアで過ごした日々は鮮明に記憶に残っています。どれも私の大切な宝物です。コロナ流行が収束し、またいつかタスマニアを訪れることができる日が来ることを願っています。

田邊 颯太郎

2012(H24)年派遣

約10年前の中2の時に参加しましたが、未だにはっきりと覚えています。ホームステイ先は70代のキムさんご夫婦のお宅でした。孫のように可愛がってもらいオーストラリアならではの料理、手作りデザートを堪能しました。夜にはギターを弾いてくれたりしました。今思えば、中2の英語はつたないものだけど、一生懸命ジェスチャーを交えて話せば伝わるのがわかりました。

僕は人見知りがないので現地の環境にすぐ慣れることが出来、ホームシックは全くありませんでした。一緒に行ったメンバーで夜に集まり演舞の稽古をしたりして、違う中学校の先輩たちともとても仲良くなりました。タスマニアでは、日本では中々体験できない羊の毛刈りを見たり、道を羊や牛が普通に歩いている光景を見て驚いたことを覚えています。交流先のグレノーラ校では紙飛行機飛ばし大会などで楽しみました。キムさんご夫婦にお土産で頂いたタスマニアのタペストリーは今でも部屋に飾ってあります。

その後、4、5年の間はメールやクリスマスカード等で交流を続けていました。タスマニアにホームステイした後、英語に興味をさらに持ち、外国語大学に進学しました。フランス語も学びました。

日下部 俊

2012(H24)年派遣

私は、2012年8月、中3の夏休みにタスマニア研修に参加させていただきました。応募した理由は「世界で一番きれいな島」と呼ばれるタスマニアに、どんな人が住みどんな生活をしているのか、自分の目で見て感じたいと思ったからです。期待に胸を膨らませていました。振り返れば、1週間という短い期間でしたが、優しいホストファミリーと楽しい時間を過ごし、多くの人に歓迎して頂きました。現地の生徒と折り紙や紙飛行機と一緒に作り、私たちも踊りを披露しました。最初は恥ずかしくて使えなかった英語も、勇気を出して話してみました。中学生の英語なので、どこまで通じたかはわかりませんが、知りたい、伝えたい気持ちが溢れてきたからです。あの頃の私は、「世界(グローバル)で活躍する力」は外国語を流暢に話すこと(英会話力)が大切だと考えていました。しかし、今は違います。海外の人々との交流を通して、様々な背景を持つ人々のことを自分から理解し、良好な関係を築こうとする「姿勢」が大切だと思います。あの時の経験を含め、今では、誰とでも物怖じせずに話す事ができるようになり仕事にも活かしていると思います。私は現在、いなべを離れて暮らしています。たとえ短い期間でも、日本を離れ海外で暮らすことに、是非挑戦して欲しいと思います。そこではきっと自分が思っている以上に、地球の大きさや世界の広さを感じる事ができます。異国の土を踏むことで、生まれ育った土地への愛着を深める事でしょう。今の世の中は、どこにいても、SNSを通じて世界中の人と交流することができます。しかし、ホームステイや海外研修のような「実体験」は計り知れない価値があると思います。その価値はすぐにわからないかもしれませんが、大人になる前の経験は、とても貴重だと思います。「世界で一番きれいな島」と呼ばれるタスマニア、いつかまた訪れてみたいです。

吉浦 美幸

2016(H28)年派遣

当時は、海外へ行けるということにワクワクしながら必死に楽しみました。初めてみる景色、初めて聞く音、初めて嗅ぐ匂い、すべてが新鮮でとても楽しかったです。ホストファミリーとの会話はなかなか上手いかならないものの、フィンキや身ぶり手ぶりで会話が成り立ち苦痛はありませんでした。あっという間のできごとでした。

当時は楽しむことで終えたホームステイでしたが、あれから5年、よくよく考えてみると影響されここまで育ってきました。今では大学で英語英米文化を学び、いずれは国際的な地域貢献を行いたいと考えています。

そして、コロナがおさまればタスマニアに訪れたいとも思っています。5年前のホームステイの経験の影響は、私の人生に大きく与えました。参加して、改めてよかったと思います。

岩田 紗奈

2018(H30)年派遣

私は今高校三年生で中学三年生の時にタスマニアホームステイに参加しました。今でもその時のことはすごく覚えていて、18年間生きてきた中で、一番楽しい1週間でした。元々、海外にはあまり興味がなかったのですが、当時通っていた塾の先生に行くことをすすめられ参加を決めました。英語力も無いし、初めて海外に行くので食べ物は合うのか、ホストファミリーの方はどんな方なのかなど沢山の不安を抱えながら飛行機に乗り込みました。

そんな私をタスマニアの方々は温かく初めて会ったのに家族のように迎え入れてくれました。

学校で習った英語が伝わって会話もすることができたときに、私は英語でコミュニケーションをとる楽しさを知りました。ですが、もっとタスマニアの方々や仲良くなりたい！もっと話したい！と思ったときに、自分の英語力のなさを実感し、英語を話せるようになりたいと思うようになりました。何年たってもその思いは変わらず「海外で生活したい」という夢を持ちました。

高校卒業後の進路を考えた時に、自分が一番したいのは英語を学ぶことで、夢は相変わらず海外で生活することだったので外国語系の短期大学に進学することに決め、無事合格し4月からは英語漬けの生活を送る予定です。

特に夢も持っていなかった私にとって、タスマニアホームステイは自分の人生を変える一つでした。タスマニアの方々、国際交流協会の方々、家族には感謝でいっぱいです。これからも感謝の気持ちを持ち続け夢に向かって邁進していきます！！

いなべ・にほんご広場

コロナ禍で、いなべにほんご広場は、過去2年間通常の対面形式での学習やお花見会等の行事ができていません。それで今は、オンラインのみで交流、学習を続けています。以前の学習者は、既に帰国されたり、他府県へ移動されたりして少なくなっています。しかしコロナが落ち着けば、これから、日本へ来る技能実習生も増えて来るはずで。そして、新しい外国人の方がいなべ市で働き住むようになります。そんな彼等を迎えて以前のような活気ある広場を早く再開したいと思っています。そして彼等が少しでも不自由なく、又、楽しく生活できるように、日本語学習、日本文化の体験等を通してサポートしていきたいです。又、いなべにほんご広場が単なる学習の広場だけでなく、他国の人との交流も含め彼等の心の拠り所の場になればとてもうれしく思います。早くコロナが収束して又、笑顔で交流したいです。(にほんご広場代表 渡辺 隆)



エコバッグ

コロナ禍で何かと制限のある中ではありますが、「市民と外国の架け橋」となるよう当協会を支えてくださっている法人会員様・個人会員様にささやかながら感謝の気持ちを込めて協会のロゴ入り「エコバッグ」を作成し、お贈りしました。

防災マニュアル
(パンフレット)配布

いなべ市に住む外国の方へ災害時の安全の一助となるように、やさしい日本語を使った「防災パンフレット」を作成。このたび外国人就労者の多い企業をはじめ市内関係先へお配りしました。



語学講座のご案内

あなたも一緒に始めませんか

随時募集中!!

韓国語クラス(一般)

曜日 毎週金曜日
時間 19:00～20:00 20:00～21:00
受講料 半年分前払い27,000円(月額4,500円)
年会費 2,000円

中国語クラス(一般)

曜日 毎週水曜日
時間 18:30～19:30 19:40～20:40
受講料 半年分前払い27,000円(月額4,500円)
年会費 2,000円

英語 小学生クラス

曜日 毎週土曜日
時間 9:10～10:00 低学年新規クラス
10:15～11:05 小学生クラス①
11:20～12:10 小学生クラス②
13:10～14:00 小学生クラス③
曜日 毎週日曜日
10:10～11:00 高学年新規クラス
受講料 半年分前払い18,000円(月額3,000円)
年会費 2,000円

英語クラス(一般)

曜日 毎週日曜日
時間 9:00～10:00(上級クラス)
曜日 毎週木曜日
時間 8:00～9:00(入門クラス)
曜日 毎週月曜日
時間 19:00～20:00(初級クラス)
20:10～21:10(中級クラス)
受講料 半年分前払い27,000円(月額4,500円)
年会費 2,000円

英語 中学生クラス

曜日 毎週火曜日
時間 19:00～19:50 中学1年生
20:00～20:50 中学2年生
受講料 半年分前払い21,000円(月額3,500円)
年会費 2,000円



お申込みに際して

- 中途入会も受けますので気軽に事務局へご相談ください。毎週、月・水・金 9:00～17:00に常駐しています。
- 受講生は国際交流協会会員として年会費2,000円を別途いただきます。
- テキストは協会で購入いたします。(別途実費)
- 途中で退会される場合は返金できません。
- 体験レッスンや見学をご希望の方は、事務局へお気軽にお申し付けください。

2022年度のおもな行事予定

●タスマニアグレノーラ校
中学生交流団派遣
(市内中学生 2・3年生対象)

●にほんご広場
毎週土曜日
19:30~21:00
北勢福祉センター

●世界の料理教室
参加費…会員/200円
一般/500円

●外国人講師による
外国語講座(英、中、韓)
(授業見学・体験入講歓迎)

●学校・保育所などへの
国際交流活動
外国人講師の派遣



いなべ市国際交流協会 事務局

いなべ市大安町平塚525 (スタッフ常駐日時: 月・水・金 9:00~17:00)

Tel/Fax 0594-78-4848

E-mail: info@inabeshi-kokusai.com

URL: http://www.inabeshi-kokusai.com



ホームページ
こちらから



Facebook
こちらから



いいね!して
ください

入会のご案内

いなべ市国際交流協会では、本会に協力・支援をしていただける方、また一緒に活動していただける方を募集しています。ぜひご入会ください。

●年会費 …… 個人/1口 2,000円 法人/1口 10,000円

法人会員 (敬称略) 個人・法人会員入会募集中!!

共栄堂印刷株式会社 北勢町阿下喜2671-1	株式会社 中村組 四日市市あかつき台1-192
三岐鉄道株式会社 四日市市富田3-22-83	水廣製機株式会社 員弁町坂東新田92-2
ジールケア株式会社 員弁町松ノ木1990-1	観清堂 大安町平塚82-1
(有)藤原中村モータース 藤原町東禅寺929-1	株式会社 文栄堂 北勢町阿下喜2073-3

国際交流協会の活動内容やご質問等は下記の方にお気軽にお尋ねください。

伊藤智子 川島 修 後藤友則 小林 馨 多湖信隆 出口源衛 出口義明
中村 昇 服部誠子 日沖正信 水谷絵美 若松芳弘 渡辺 隆 (五十音順)